

2023年11月 千葉公園「自然観察会のお知らせ」

日時：2023年11月11日（土）10時00分～12時00分（120分）

会場：千葉公園 〒260-0045 千葉市中央区弁天3-1

集合：蓮華亭 受付9時45分から

内容：植物・昆虫・水鳥の観察会・落ち葉の絵画展

①ハナミズキ（みずき科）

春は花、夏は緑の葉、秋は赤い実に紅葉が素敵です！

②ヒマラヤスギ（まつ科）

大きなマツボックリができるので「まつ科」の植物だよ。

③ショウガ（しょうが科）

ショウガの花は真っ白で良い香りが漂います！

④アメジストセージ（しそ科）

花壇で咲く秋の草花を観察してみましょう！

⑤イボテングタケ（てんぐたけ科）

アラゲキクラゲ、マンネンタケ、アカヤマドリ、ツルタケを探そう！

⑥秋の便り「モズ（もず科）・ジョウビタキ（ひたき科）」

秋を代表する野鳥はモズやジョウビタキです。耳を澄ませてさえずりを聞こう！

持ち物：自然観察ができる服装と靴・タオル・飲み物・おやつ・図鑑（植物・昆虫・野鳥など）

カメラ・双眼鏡・敷物・帽子・雨具・筆記具・虫眼鏡・採集袋・防虫対策を！

お話し：亀井 尊（日本自然保護協会・自然観察指導員）

安全対策：1. マスクを着用して、公園の自然に親しみます。

2. 寒暖差の対策と水分補給を忘れないこと！

3. 植物採集、昆虫採集はできません。

4. 植物のトゲや毒をもつ昆虫には注意しましょう。



【落ち葉と木の実で動物を描く】

時間配分

10:00～10:10 蓮華亭にて挨拶・資料配布・今月の自然解説

10:15～11:45 綿打池を時計回りで移動し展望台、市民プール近くまで行き、戻ります。

①11月に咲く花の観察

②落ち葉と木の実の絵画展

③冬を迎える昆虫の観察

④野鳥と綿打池の水鳥観察

11:50～12:00 今日の観察会を振り返って。

来月の予定 12月9日（土）10:00～12:00

＜観察のポイント＞

1. 紅葉を迎えたハナミズキの葉は晩秋の千葉公園で落ち着いた雰囲気を示しています。赤い実も見え隠れしています。別名アメリカヤマボウシと言われている。その由来は何でしょう？
2. 千葉公園の巨木にヒマラヤスギがあります。毎年冬に大きなマツボックリを枝に着けています。この時期の枝には小さな薄緑色した実のようなものが見られますが、これは何でしょう？
3. 市民プールのそばに白いユリのような花が咲いて、良い香りが漂ってきます。ジンジャーです。日本名では「ショウガ」ですね。ひっそりと咲いている花の香りと葉っぱを観察してみます。
4. 花の少ない晩秋にも花壇では色とりどりの花が見られます。シュウメイギク、ヤナギバルイラソウなど。その中でも鮮やかなブルーのアメジストセージが目立ちます。何科でしょう？
5. 土手斜面の土が盛り上がりキノコが頭を出しています。傘を開いているものも見られます。イボがたくさんついた茶色のキノコは「イボテングタケ」です。このキノコは食べられるの？
6. 初秋の朝は野鳥のさえずりで目を覚ますことがあります。ジョウビタキやモズのさえずりを聞きながら冬支度をします。観察会ではモズの高鳴きが樹冠から聞こえてきますよ。

主催：NPO法人 ちばサイエンスの会 連絡先 080(3503)6059（亀井）

千葉公園の自然（花・草・鳥・昆虫など）に親しむ

晩秋の季節を迎えましたが、2023年は異常気象が夏からまだに継続しています。11月というのに25℃を超える夏日が日本各地で観測されるという状況が続いて、生きものに大きな影響を与えようとしています。早急な温暖化対策と私たちが環境に適応する生活をしていかなければ困難を乗り越えることはできない切羽詰まった事態になって、希望に満ちた将来を展望する余裕さえありません。

千葉公園の自然環境も大きく変化し、未来を見据えたものとはいいがたい経済優先の改変が行われています。未来を担う子どもたちに何を残せるのかを考えたら自ずと答えが出てきそうなものですが、環境を破壊してでも人の流れを優先にした経済活動の場を作ろうとする企業と行政に先見性はないようです。「Think globally, act locally」と言葉の意味をしっかりと考え行動してもらいたいものです。《11月の自然観察》

1. ハナミズキ（みずき科） 庭木・公園樹・街路樹として植栽

1912年、東京市長の尾崎行雄がワシントンにサクラを送り、その返礼として東京に贈られた「日米親善の木」として有名です。季節感を味わえるというので積極的に植栽されている樹木です。新興住宅地近くの街路樹にはハナミズキを植えて、春の花の時期、夏の緑陰、秋の実と紅葉、冬の落葉と四季折々の季節感が住民に親しまれているようです。人気のある街路樹の一つです。



【4枚の花びらに見える部分は総苞片で中央にあるのが花なのです。赤い実と葉の紅葉が素敵！】

2. ヒマラヤスギ（まつ科）

公園の巨木と言えば太い幹回りがクスノキで、背が高いのがヒマラヤスギでしたね。そのヒマラヤスギの枝に小さな緑色した実のようなもの（左の写真）が15前後の小葉の中にあります。この実のようなものが真ん中の写真のような実に生長していくのでしょうか？これから毎月経過観察をしていきましょう。まつ科の植物は雌雄同種です。



【これは何でしょう？ 枝いっぱいについていますよ。マツボックリになるのか継続観察です！】

3. ショウガ（しょうが科）

千葉公園の市営プール近くに毎年白い花を咲かせるショウガ（ジンジャー）が見られます。近づくとなほかな爽やかな香りをかぐことができます。ここはハーブ園と表示されていて、近くにはチェリーセージの白に赤い花も見られます。

スーパーの野菜売り場では「新ショウガ」として売られています。これはショウガの根の部分が育ったばかりの頃に収穫されたものです。一般的なショウガよりも柔らかく、水分を豊富に含んでいるので辛みや風味があるので、



みずみずしくシャキシャキして食管と風味を楽しむことができ生で食べます。また、ひねショウガとは茶色くてかたい一般的なショウガのことを言います。繊維質で辛みも強いのが特徴です。

4. アメジストセージ（しそ科） 別名：サルビア・レウカンサ／メキシカンセージ

アメジストは2月の誕生石で紫水晶のことをいい、むらさき色の見事な花見ることが出来ます。花言葉は「家族愛・家族的」と身近な植物として、ミントのようなすっきりした香りをもっています。冬には地上部の茎や葉は枯れてしまっても根が枯れずに残るので春に再び目を出す宿根草です。それではしそ科の植物をしっかりと観察してみましょう。

むらさき色したピロードのような肌触りの花は実はガクなのです。花はガクから飛び出すように伸び、色は白や紫、ピンクなどがあります。春に植え付けると1年目からたくさんの花が楽しめるため、秋の庭に植えておきたい一株です。

観察項目 ①茎の形：四角い茎が特徴です

②葉の出方：対生に葉が出ます

③香り（花・葉）：ミントのようなすっきりした香り



【ムラサキのガクと白い花】

5. イボテングタケ（てんぐたけ科）

イボテングタケは毒キノコなので食べてはいけません。特徴は表面に白いイボがあり、ツバとツボがあります。

カサ：灰褐色からオリーブ褐色で白色のイボがあります

ヒダ：白色、離生、密

柄：上部に膜質のツバ、根元にリング状のツボがあります

場所：針葉樹林の地上部「ヒマラヤスギの根元近く」

発生：6月と10月下旬に観察

症状：腹痛、おう吐、下痢、けいれんなど

ベニテングタケも同じ仲間ですが、こちらは見た目からすぐに毒キノコを連想させます。でも、見た印象から派生するイメージから童話やアニメ、ゲーム「スーパーマリオ」などでなじみがあり、ヨーロッパでは幸福を呼ぶ象徴として人気があります。



【ヒマラヤスギ近くで】

6. 秋のたより「モズ、ジョウビタキと渡り鳥」

晩秋の頃、朝夕に野鳥のさえずりを耳にするようになりました。

この時季を代表する野鳥として、ジョウビタキとモズがあげられます。

①ジョウビタキ：ジョウは「尉」の漢字を当てて、銀色の髪を意味します。ヒタキは「火焚」の漢字から、火打石をたたく音に似た音を出すという意味です。特徴としてオスは翼にある白い斑点をきもの紋に見立てて「モンツキ」とよばれています。枝にとまって尾をふるわせたり、おじぎをする冬鳥です。写真はオスです。



②モズ：漢字で「百舌鳥」と書き、他の鳥の鳴き声をまねるのが上手。この時季に山地から里へ下ってきます。大木の樹冠で秋の高鳴き「キチキチキチと鳴く」をしてなわばりを主張しています。また、生け垣などの尖った小枝や有刺鉄線にバッタやカエルなどのえものを串刺しにする変わった習性があります。この行為を「モズのはやにえ」と言います。スズメをつるしたところを見たことがあります。



③綿打池に渡り鳥：シベリアからの渡り鳥として、キンクロハジロがやってきます。かつてはホシハジロもいましたが近年は種類、数とも減少傾向にあります。過ぎしにくい環境に変化している証拠に水の汚れによるエサ不足と樹木の減少による光害が考えられます。



《11月》 千葉公園の自然風景（花・草・鳥・昆虫など）

【①】ハナミズキ



①ハナミズキは街路樹として人気のある樹木です。それは四季が明瞭に感じられるからです。

【②】ヒマラヤスギのオバナ



②巨木調査ではヒマラヤスギは上位に位置します。今、枝にはオバナが見られますよ。

【③】ショウガ



③野菜売り場でシンショウガが売られています。辛みのある大人の味がしますね。



④紫色のみごとな花が花壇で見られます。そっと触れてみましょう。どんな感じですか？

【⑤】イボテングダケ



⑤キノコを見つけよう。枯れた幹に出るキノコや土の中から出ているキノコもあるんだよ。

【⑥】秋の便り「ジョウビタキ」



⑥秋を代表する野鳥がジョウビタキです。左がオス、右がメス。「ヒー・ヒー」と鳴くよ。